

種の概要

東京湾・若狭湾から九州に分布。内湾奥部や河口域の粗砂底から砂底に潜って生息する。殻長40mm、殻高20mm程度。殻は前後に長い楕円形で薄く、膨らみはやや弱い。殻表は平滑、殻の色彩と模様は多様で、褐色から青緑色、黄褐色、淡い褐色に暗紫褐色の放射彩が見られることもある。内面は淡紫色。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○				○			○

県内分布

高砂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。淡路島では、南部の内湾泥砂干潟に生息しているが、生貝は1個体のみで死貝がほとんどである。産地によってはハザクラ(貝類Aランク)の死貝も見られる。加古川(高砂市)では死貝のみが確認されているにすぎない。

保護上の留意点

現状においては、生息の持続性が確認できないが、既知産地や他の生息可能な河口・内湾干潟の保全に努める。



写真提供：川淵千尋

